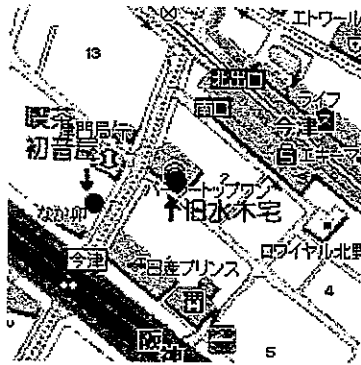


今津いまむかし物語

サブURL (このURLからもアクセスできます): <http://nishinomiya-style.com/imazukko> このブログのトップへ戻る

水木しげる★鬼太郎が生まれた家

2010/08/30 23:51:45



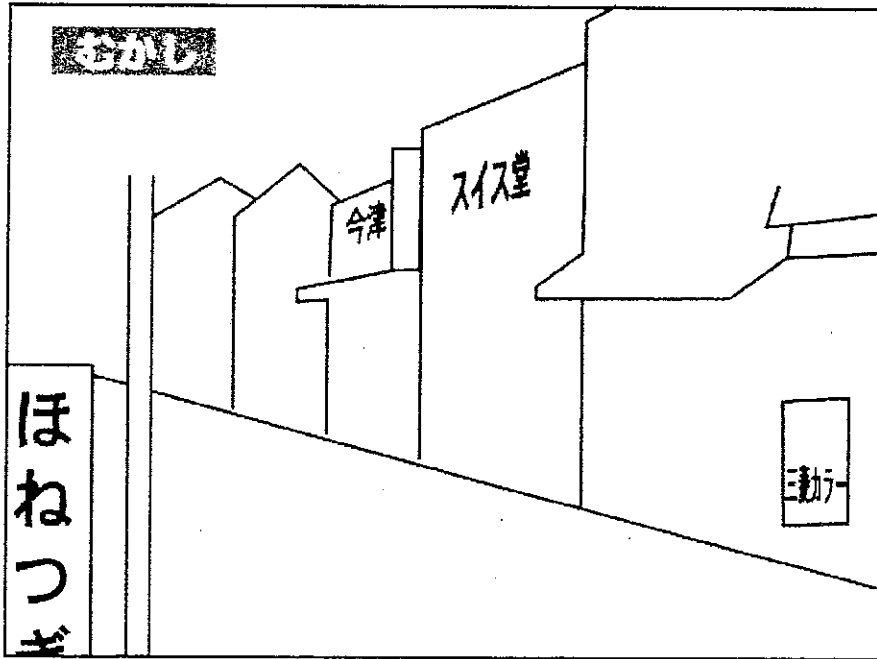
NHK朝ドラの影響でなにかと話題の多い水木しげる氏ですが、氏が東京に移住する直前の昭和28年から数年間、今津に住んでいました。

「ゲゲゲの鬼太郎」は氏の代表作の一つですが、そのころ紙芝居作家であった水木氏がその原形である紙芝居版の「墓場の鬼太郎」を初めて書かいたのは、ちょうど今津に住んでいた時でしたので、鬼太郎は今津生まれとも言えます。

では、今津のどこに住んでいたかですが、喫茶「初音屋」の店主である立花吉博さんの水木氏本人や当時を知る人々からの聞き取り調査の結果、今津駅前商店街の、後に「東齒科」が入居した家であると判明しました。昭和36年発行の住宅地図にその東齒科が見えます。地図では三陸屋と東齒科が並んでいますが、実際には1階が三陸屋、2階が東齒科だったそうです。



水木氏の「水木しげる伝」の中に、むかしの今津を描いたカットがあります。このカットは他の著作や記事でも見ることができますが、ここでは著作権の関係でその中に描かれた店のカンパンの文字だけを紹介します。



中央の「スイス堂」は地図と同じです。その左にある「今津」は、地図によると「今津米穀店」であることが分かります。カット左端の「ほねつぎ」は金沢治療院の看板と考えられます。カット右端に「ユニオンカメラ店」が路上に置いたものと思われる「三菱カラー」の看板が見えますが、三菱製紙がカラー印画紙を発売したのは昭和40年のことですので、このカットは水木氏が今津に住んでいたころではなく、昭和40年代の情景をなんらかの資料により描いたものであることが分かります。

このカットと同じ位置から現在の様子を撮影してみました。



中央の黄色いテントの「たこ八」と、その右隣の「ぐるり池田」の境目の向かいが水木氏の家にあたりますが、現在はその一角全体がパチンコ店になっているので、かつての面影はありません。

本稿は、喫茶「初音屋」の立花吉博さんの協力を得て書くことができました。同店では、更に詳しい話が聞けます。

{2010年9月24日、一部内容を訂正しました。}